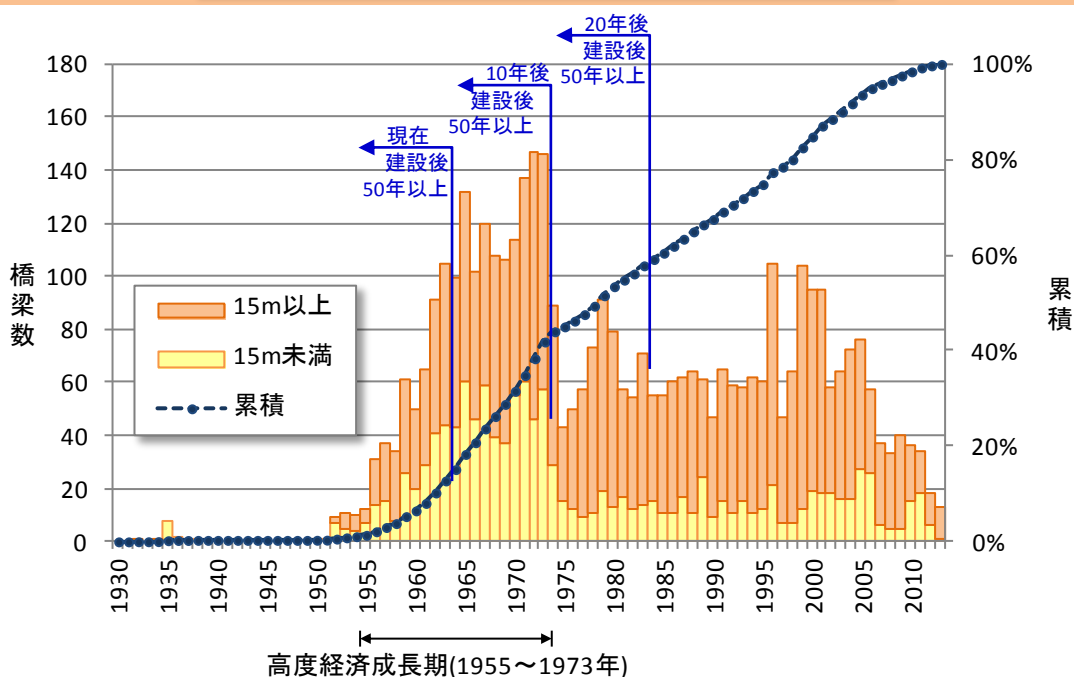




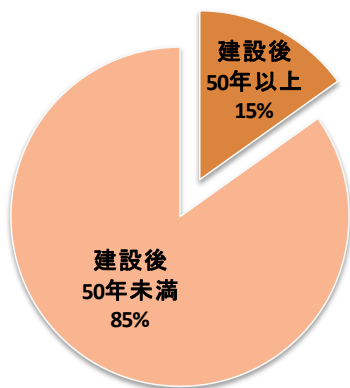
橋梁老朽化の現状【国管理】

- 北海道開発局が管理する道路橋は、平成26年4月1日現在、4,162橋（橋長＝2m以上）であり、高度経済成長期（1955年～1973年）に全体の約4割にあたる約1,700橋が建設されています。今後これら橋梁の高齢化が一斉に進むことから、適切な時期での補修・架替えが必要となることが想定されます。
- 北海道開発局における建設後50年以上を経過した橋梁箇所数の占める割合は、現在の15%から20年後には59%にまで急激に増加します。

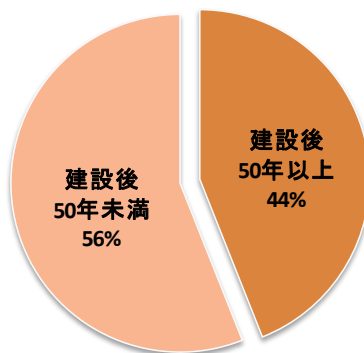
架設年次別の橋梁箇所数分布



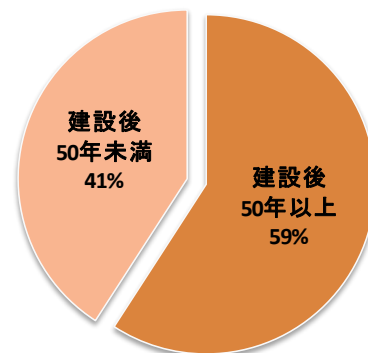
経過年数別橋梁数(橋長2m以上)



2014年
【現在630橋】



2024年
【10年後1831橋】



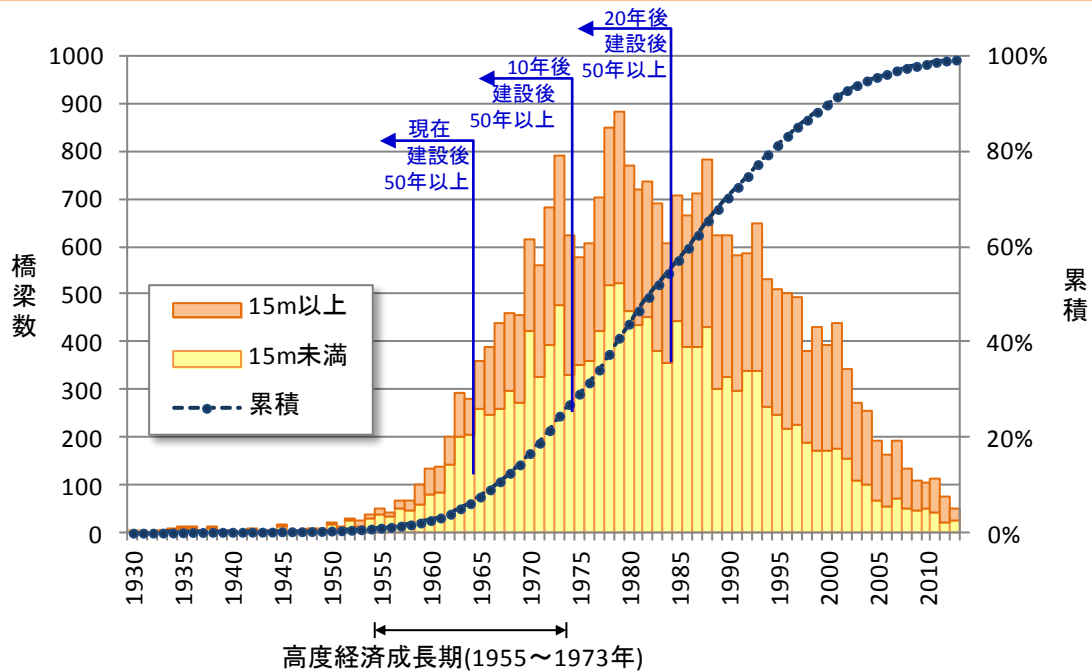
2034年
【20年後2461橋】



橋梁老朽化の現状【地方自治体管理】

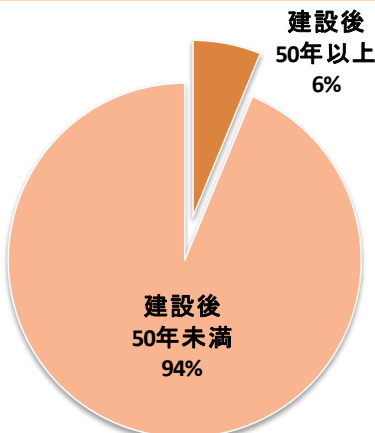
- 北海道における地方公共団体が管理する道路橋は、平成26年4月1日現在、25,963橋(L=2m以上)であり、今後これら橋梁の高齢化が一斉に進むことから、適切な時期での補修・架替え等が必要となることが想定されます。
- 建設後50年以上を経過した橋梁箇所数の占める割合は、今後、大幅に増加する見込みです。

架設年次別の橋梁箇所数分布

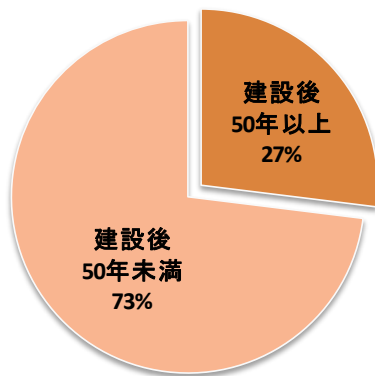


経過年数別橋梁数(橋長2m以上)

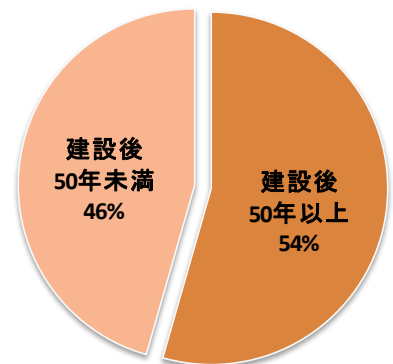
▼▼ 地方公共団体全体(25,963橋) ▼▼



2014年
【現在1617橋】



2024年
【10年後6999橋】

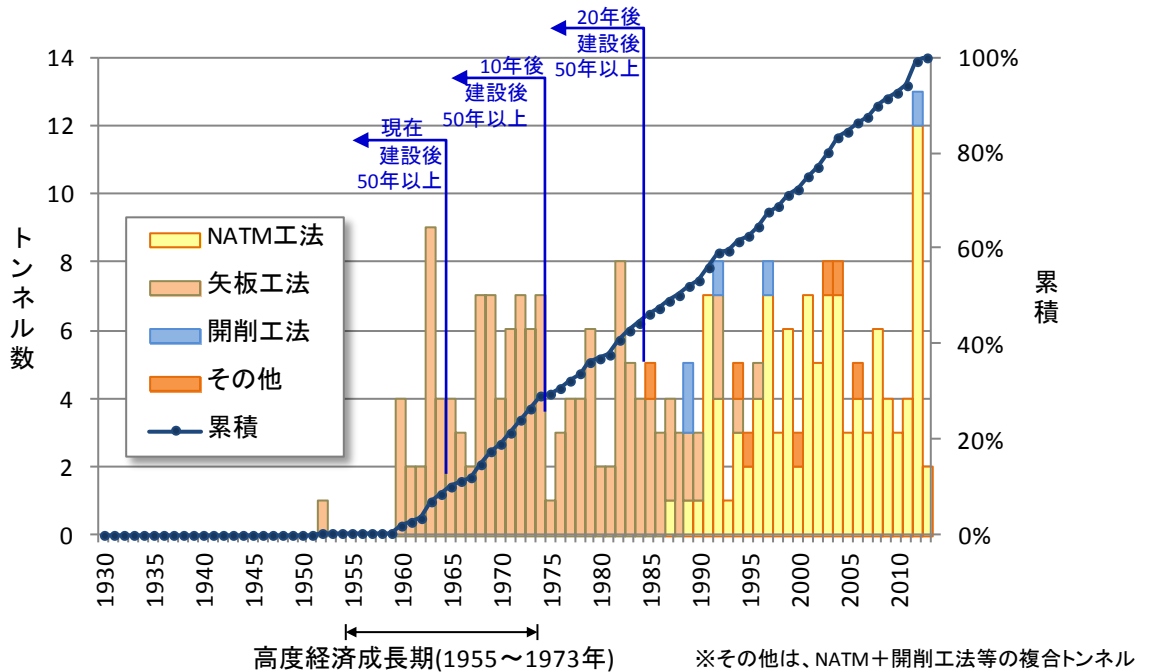


2034年
【20年後14132橋】

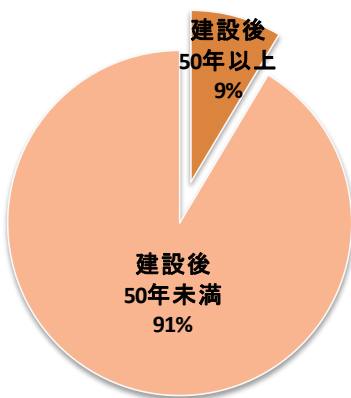
トンネル老朽化の現状【国管理】

- 北海道開発局が管理するトンネルは、平成26年4月1日現在257本であり、高度経済成長期(1955年～1973年)に全体の約3割にあたる約70トンネルが建設されています。今後、これらトンネルの高齢化が一斉に進むことから、適切な時期での補修等の対策が必要となることが想定されます。
- 北海道開発局における建設後50年以上を経過したトンネル本数の占める割合は、現在の9%が20年後には44%と急激に増加します。

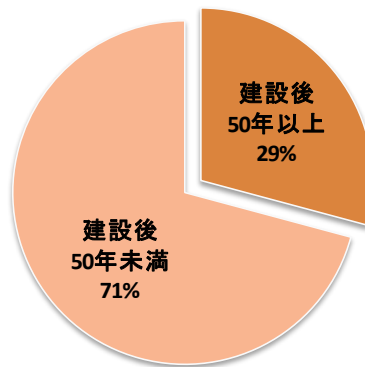
建設年度別のトンネル本数分布



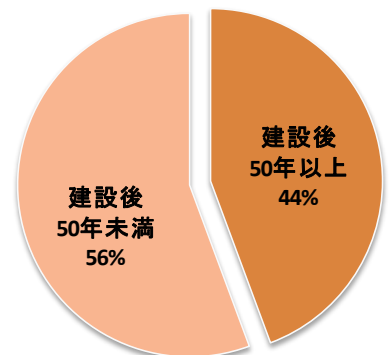
経過年数別トンネル数



2014年
【現在22本】



2024年
【10年後75本】



2034年
【20年後114本】